

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

10月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	吉田 勝廣(公明県民無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 円安に伴う県経済に与える影響について</p> <p>(1) 県民生活、中小企業、観光産業等について説明されたい。</p> <p>(2) 今後の見通しについても、円安傾向が続くとすれば、どのような対策を考えているか伺う。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 自衛隊基地について</p> <p>ア 警戒航空隊第603飛行隊の装備と人員及び、役割について説明されたい。</p> <p>イ 海上自衛隊と米軍との対潜水艦戦訓練の内容について伺う。</p> <p>ウ PAC3の全国の配備状況と役割について説明されたい。</p> <p>エ 中距離、短距離地对空誘導弾の全国の配備状況と役割について説明されたい。</p> <p>オ 那覇基地の戦闘機部隊を1個飛行隊の増強及び初動を担当する警備部隊の装備人員、役割について説明されたい。</p> <p>カ 空中給油訓練と防空戦闘訓練の内容について伺う。</p> <p>キ キャンプ・シュワブ、キャンプ・ハンセン、北部訓練場、嘉手納、普天間飛行場等における共同訓練の推移と訓練内容等について伺う。</p> <p>ク ブルービーチ、宜野座村瀧原等への共同訓練が通告されているとのことだが、その内容について伺う。</p> <p>ケ キャンプ・ハンセンの共同訓練(期間、施設、内容の公表)について説明されたい。</p> <p>コ 共同使用の法的根拠について伺う。</p> <p>(2) 米軍について</p> <p>ア 強襲揚陸艦等が寄港し、沖縄近海で演習を頻繁に行っているようだが、その内容について説明願いたい。</p> <p>イ MV22オスプレイの各LZにおける演習の回数等実態について伺う。</p> <p>ウ MV22オスプレイの離陸基地への帰着時間の実態について伺う。</p> <p>エ MV22オスプレイに所属する兵員数と軍属数について説明されたい。</p> <p>3 自然環境保護について</p> <p>(1) 赤土流出の実態と対策について説明されたい。</p> <p>(2) マングローブの保全と育成について説明されたい。</p> <p>(3) 億首川のマングローブの現状について伺う。</p> <p>(4) 鳥獣被害と対策について説明されたい。</p> <p>4 労働・福祉・医療行政について</p> <p>(1) 非正規雇用の実態(給与所得、労働時間、時給、社会保険等の有無など)と対策について説明されたい。</p> <p>(2) 県の社会問題の一つとして指摘されているのが、早婚・貧困・離婚問題と言われているが、その背景と対策について伺う。</p>			

- (3) ほくと会への改善指導の進捗状況について、説明されたい。
  - (4) ほくと会による不動産の取得、売買、土地の賃貸について、把握しているか。また、これらは適正な手続がなされているか伺う。
  - (5) 「TATTOO」の実態と「入れ墨」の彫り方について伺う。
- 5 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

10月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	糸洲 朝則(公明県民無所属)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

1 私は、去る7月29日、上原章議員と鳥取県を視察し、鳥取県手話言語条例の制定と県の取り組みについて勉強してきました。鳥取県では、2008年12月、鳥取県将来ビジョンで、「手話がコミュニケーション手段としてだけでなく、言語として一つの文化を形成している…」と位置づけました。2009年、「障がいを知り、共に生きる」あいサポート運動をスタート。2012年6月県議会から本会議生中継で手話通訳を実施。2013年1月、全日本ろうあ連盟等が平井知事を訪問し、手話言語条例(仮称)の制定を要望。4月には日本財団が知事に手話言語条例(仮称)の検討に向けた全面的協力を表明。これらを受けて、知事が手話言語条例の検討を表明し、早速第1回鳥取県手話条例(仮称)研究会を立ち上げ、第2回、3回、4回と研究会での報告をまとめ、パブリックコメント、県政参画電子アンケート、県民向け説明会を経て、2013年(平成25年)9月定例県議会で「手話言語条例案」が全会一致で可決成立し、10月11日施行となっておりますとの説明でございました。知事の障害者への思いと決断が関係者や多くの県民の理解と協力を得て、県議会で全会一致可決されたものと思います。鳥取県の取り組みは、条例制定までに行き届くことから実施していくとの手法で、その実績が「手話言語条例」の制定に至ったとも言えます。以下質問します。

- (1) 手話言語条例制定に対する知事の所見を伺います。
- (2) 「手話がコミュニケーション手段としてだけでなく、言葉として一つの文化を形成している」との位置づけに対する知事の所見を伺います。
- (3) 本県議会は、去る6月議会で「手話言語法制定を求める意見書」を採択いたしました。知事の所見を伺います。
- (4) 本県議会の本会議は生中継ですが、手話通訳の実施を提案し、県の所見を伺います。
- (5) 手話通訳者の育成、スキルアップに県はどうかかわっているか。また、本県の手話通訳者は何人で、給与等の状況について伺います。
- (6) 鳥取県からスタートした「障がいを知り、共に生きる」あいサポート運動は、島根県、埼玉県、奈良県へと広がり、あいサポーター数21万5296人、あいサポート企業、団体認定数759企業団体、あいサポーター研修実施回数1722回と広がりを見せている。このあいサポート運動への参加を提案し、県の所見を伺う。

### 2 新県立図書館建設について

新県立図書館建設について伺います。「那覇バスターミナル地区」複合施設への移転に賛成です。要は、この立地条件を最大限に生かした構想を描いていただきたい。私は、去る5月25日、佐賀県の「武雄市図書館」を視察してきました。人口5万人のまちに、年間100万人の来館があるとのことで、楽しみにしながら行きました。TUSTAYAを運営するCCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)を指定管理者とし、その特徴は図書館と書店を融合させて、閉館時間の延長はもちろん、スターバックスまで出店している。人が集まる仕組み、読書空間のすばらしさ、さまざまな施設や仕組みが演出され、従来の図書館の既成概念を打ち破った図書館です。新県立図書館も既成概念にとらわれない図書館を期待し、新県立図書館の構想について伺います。

### 3 医療・教育行政について

#### (1) 軽度外傷性脳損傷(MTBI)について

交通事故やスポーツ外傷などにより頭部が激しく揺さぶられ、脳の神経線維が損傷して発症する軽度外傷性脳損傷(MTBI)は、世界保健機構(WHO)が静かなる流行病と警告したことで大きく注目されています。日本ではまだ聞きなれない疾病ですが、2007年のWH

○報告によると、年間1000万人の外傷性脳損傷患者が発生していると推測され、このうち9割がMTBIと言われています。日本ではまだ診断基準がないので、国内の患者数を正確に把握できておりませんが、WHOの報告から累計患者数を推測すると、実際には過去20年間だけでも数十万人いると言われています。厚生労働省は、患者救済に必要な診断ガイドライン作成のため、ことし6月から専門家を交えた検討を開始していると伺っています。そこで伺います。

- ア 軽度外傷性脳損傷(MTBI)について、県の認識と県内における患者の状況や専門医の体制等について伺います。
- イ スポーツ外傷等によっても起こる病気でもあり、県教育長や学校現場等の認識についても伺います。
- ウ 厚生労働省も対策に取り組んでおり、県としても情報収集や連携が必要ではないかと考えますが、県の対応を伺います。

#### 4 福祉行政について

##### (1) 那覇市への特別支援学校の設置について

那覇市に特別支援学校がないため、市外の特別支援学校へ通っている保護者や関係者からは、那覇市への特別支援学校の設置を望んでいると聞いており、質問いたします。

- ア 那覇市への特別支援学校の設置計画について伺います。
- イ 市外への通学生の実態について御説明願います。

#### 5 教育文化行政について

##### 御茶屋御殿の復元へ向けた取り組みについて

(1) 御茶屋御殿の復元について、今後の流れとして、国の文化財登録→国の文化財指定→都市公園整備としての事業認可→首里城と一体化した「世界遺産登録」へと進めることが想定されますが、「国の文化財登録」に関しては、那覇市長の「意見具申」と「測量図」が必要だと聞いております。そこで伺います。

- ア これらの事業推進の中で、県の役割について現状と今後の取り組みを伺います。
- イ ワーキンググループの取り組みについても、現状と今後の展望について伺います。

(2) 御茶屋御殿復元の課題の一つに、御茶屋御殿跡地に現存する首里カトリック教会及び幼稚園の移転問題があります。教会側は、首里地域への移転を希望しており、代替施設の確保は大変重要であります。そこで、旧芸大跡地の提供は可能かどうか伺います。

#### 6 土木行政について

(1) 去年の9月定例会で、真嘉比遊水地の機能改善の質問に対し、當銘土建部長は「比較的小規模な降雨でも遊水地が機能しやすくなるよう、暫定的な運用を検討している」との答弁でしたが、その後の取り組みと結果について伺います。

(2) 真嘉比遊水地周辺を桜の名所にしたいとの地域住民の声をもとに質問いたしました。川上副知事は、1、河川区域内に植樹を行う場合には、河川法の許可を受ける必要がある、2、植樹の許可申請があった場合は、河川管理上の支障等を検討し適切に対応と答弁。そこで伺います。

ア 河川法の許可が得られるよう、県が基本計画をつくり、地域住民の意向も踏まえて共同で進められないか伺います。

イ 去る3月31日、野原嘉孝那覇市議と愛媛県松山市のNPO法人日本さくら交流協議会を視察し、意見交換をいたしました。この協会は設立目的に、「戦争やテロのない平和な社会を願い、日本国内及び世界各国に桜等の苗木を贈る事業や植樹事業を行うことによって公益に寄与する事を目的とする。」として、桜の普及拡大に取り組んでいます。懇談の折、シュガーローフ、真嘉比遊水地の桜の植樹に対し前向きな話をいただきました。したがって、県、那覇市、自治会等でワーキンググループを立ち上げ、真嘉比遊水地を「桜の名所」にする事業の取り組みを提案し、県の考えを伺います。

ウ 日本さくら交流協会は「天城吉野」に「台湾緋桜」と交配し、「陽光」という新種を開発しており、環境に順応しやすいと聞き、松山まで出向いて見てまいりました。同協会より苗木の提供も可能かと思えます。したがって、「陽光」桜の名所づくりを視野に入れた取り組みができないものか伺います。

#### 7 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

10月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	照屋 守之(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 仲井眞知事2期目の総括について (1) 実績と課題</p> <p>2 11月16日の県知事選挙について (1) 意義 (2) 争点 (3) 政策</p> <p>3 国政と県政との関係について (1) 信頼関係継続のメリット (2) 対立・対決のメリット (3) 基地問題解決と沖縄振興に与える影響</p> <p>4 新聞報道の事実確認について (1) 「辺野古漁港埋め立て契約 防衛局、使用許可なく」(8月8日)の見出しの報道。 (2) 「県は防衛局の出先機関か」(9月5日社説)の見出しの報道。</p> <p>5 琉球人の差別問題について (1) 琉球人の定義 (2) 誰が、どのように差別しているか。 (3) 沖縄県民の意識を無視した行為ではないか。</p> <p>6 我が党の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

10月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	中川 京貴(自民党)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 基地問題について

- (1) 9月4日午後5時15分ごろ、米海兵隊第31海兵遠征部隊所属のAV8Bハリアー攻撃機が、緊急着陸後に機体から出火する事故が発生した。今回の緊急着陸後の出火は、機体の爆発炎上につながる大惨事を引き起こすおそれがある事故である。県の取り組みについて
- (2) 普天間飛行場の「5年以内運用停止」について
  - ア 「5年以内運用停止」実現の見通しはどうか。
  - イ 政府の取り組み状況、手応えについてはどうか。
- (3) 地位協定の環境補足協定について
- (4) 住宅防音工事について
  - ア 騒音被害のある法律で定められた75W以上の全ての地域における告示(昭和58年3月10日嘉手納飛行場周辺・昭和58年9月10日普天間飛行場周辺)の設定を平成26年3月に引き上げるよう政府に要請すべきではないか。
  - イ 80W・75W地区における全室防音(初めて住宅防音工事を行う鉄筋コンクリート造の集合住宅以外の住宅を外郭防音工事)の対象になるよう政府に要請すべきではないか。

### 2 仲井眞知事の2期8年間の実績と成果について

- (1) 仲井眞知事の行財政改革の主な実績及び成果と今後の課題について
- (2) 沖縄振興の実績及び成果と今後の展望について

### 3 平成26年度台風8号被害について

- (1) 平成26年度台風8号の被害状況・被害総額について
- (2) 平成26年度台風8号による最も被害を受けた農林水産業の状況と今後の対策について
- (3) 嘉手納町では同町を流れる比謝川が氾濫した影響で、町内に通じる国道58号と県道74号線が冠水し、全面通行どめになった。一時、町内へ車両での出入りができない状態になり孤立してしまっただが、今後の比謝川氾濫・国道・県道の対策について
- (4) 嘉手納漁港では船の転覆・河川の氾濫により漁港近くの住居地域が陥没し、住居地域に多大な被害を及ぼしている。今後の対策と取り組みについて

### 4 中高一貫教育について

- (1) 開邦高校への中学部併設について進捗状況と今後の取り組みについて
- (2) 「中部地区にも国公立大学や難関私立大学へ進学を目指す高校を」という中北部地域の切実な要望と大きな期待があり、球陽高校にも中学部を併設し、開邦高校と同時に中高一貫教育を6月議会で提案しましたが、教育長の必要性和認識について

### 5 交通安全対策について

- (1) 本県における最も交通事故が多い交差点・箇所、その対策と解決策について
- (2) 本県における信号機設置数と新たな設置要望と今後の取り組みについて
- (3) 本県における横断歩道、設置箇所と設置数について
- (4) 横断歩道の舗装整備の年間予算について

- (5) 国体道路ドラッグイレブン前十字路付近の桑江中央線と交差する道路がありますが、上勢頭550番地オートショップKEN前から入り、上勢頭550番地11ファミリーマート北谷国体道路店後方までの町道上勢頭47号線は、普通乗用車がすれ違うのがやっとの道幅で危険な状態である。スピードが出せない対策はできないか。
- 6 道路行政について
- (1) 西原町棚原付近の県道29号線拡幅工事の進捗状況とこれまでの予算及び完成予定について
- (2) 北中城村安谷屋の北中城インターチェンジ付近の県道9号線は、交通渋滞が発生し、地域住民から交通渋滞解消のため道路の拡幅工事の要望があるが、拡幅整備等の計画はあるのか。
- 7 福祉行政について
- (1) 本県の子育て支援対策の状況と今後の対策について
- (2) 乳幼児医療費の無料化制度の経緯、また財源措置について
- (3) 通院費を就学前、中学3年まで引き上げた場合の予算と対象者について
- (4) 現物給付制度の全国の取り組みについて
- (5) 貸付制度を導入し、病院窓口での一時支払いをなくし現物給付的な制度の仕組みについて何度も議会で取り上げたが、その結果について
- (6) 平成25年11月よりうるま市からスタートした自動償還払いについて、現在の進捗状況と取り組み、また実施されていない市町村の理由を県は把握されているか。
- 8 沖縄県地域防災計画について
- (1) 県の災害予防計画についての基本方針と市町村における地域防災計画について
- (2) ニライ消防本部において2017年度「嘉手納指令センター(仮称)119番受理の一元化」について(一元化に加入しない市町村の数及びその理由を県は把握しているか。)
- 9 我が党との代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

10月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	上原 章(公明県民無所属)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 基地問題について

- (1) 知事は、「普天間飛行場の辺野古移設は事実上不可能」、「固定化を言うことは一種の墮落」とまで明言していたが、その根拠・真意は何だったのか、今は、どう考えているのか。
- (2) 県民8割の人が辺野古移設反対との調査が出ているが県の認識を伺います。名護市長が反対する中で、移設を強行すれば、憲法が定める地方自治の本旨を踏みにじる行為になるとの声があるが、見解を伺います。
- (3) 米軍ヘリや戦闘機からの部品落下、着陸時の出火・緊急停止、米軍人・軍属等が引き起こす飲酒運転、追突事故等悪質な事件が後を絶ちません。再発防止を何度求めても改善せず、日米両政府の対応は全く評価できるものではない。県の対応はどうなっているか。
- (4) オスプレイや米軍機の深夜飛行激化、騒音被害は、県民生活に甚大な悪影響を与えています。基地負担軽減とは逆行しており許されるものではありません。実態と対策を伺います。

### 2 観光振興について

- (1) 国内観光客の平均宿泊日数や1人当たりの観光消費額は伸び悩んでいると聞くが、要因は何か。現状と対策、今後の見通しを伺います。
- (2) 修学旅行受け入れの拡充はどうなっているか。他県や海外と競合する中で、内容の充実が必要と考えます。現状と課題、対策を伺います。
- (3) ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)が、名護市進出を検討しているとのこと。積極的に誘致すべきと考えますが、県の対応を伺います。

### 3 福祉・医療行政について

- (1) 県は、潜在的待機児童も含めた待機児童の解消を図るとしているが、現状と対策、今後の見通しを伺います。待機児童ゼロの実現はいつを想定しているのか。
- (2) 県は、認可化移行を目指す認可外保育施設へ運営費支援を行う事業を推進しているが、内容と効果を伺います。
- (3) 「5歳児問題について」県の対応を伺います。
- (4) 沖縄戦の影響で県内市町村の国民健康保険(国保)財政が悪化している問題について見解を伺います。
- (5) 県や県内6団体は、国に対し、県内市町村の国保への財政支援を要請しているが見通しを伺います。
- (6) 盲養護老人ホーム等の設置について、当事者のニーズ調査を実施し設置に向けた検討委員会を立ち上げるとしていたがどうなっているか。
- (7) 「危険ドラッグ」が深刻な社会問題となっており、指定薬物や違法薬物等の早期根絶が求められています。本県は中間地点との声もありますが、実態及び対策はどうなっているか。

### 4 教育行政について

- (1) 国際的視野を持ち、国際社会において主体的に行動できる人材を育成することは、本県が目指す国際交流拠点の構築につながるものと考えます。海外留学・交流派遣事業の現状・成果を伺います。



- (2) 県内11市町村で実施されている児童・生徒への無料塾という学習支援事業が来年度以降、事業縮小もしくは実施できなくなる懸念があります。同事業への評価、支援を伺います。
  - (3) 学校等で、薬物教育の強化が必要と考えるが対応を伺います。
- 5 安全・安心なまちづくりについて
- (1) 広島市で起きた土砂災害は、警戒区域の指定や避難指示のあり方等、多くの課題を残しました。見解と対応を伺います。
  - (2) 県内41市町村で、橋の定期点検が約8割未実施とのこと。県の対応を伺います。
  - (3) 那覇市繁多川2丁目は消防活動困難地域に指定されており、地域住民の皆さんから、県営松川団地への防災道路設置が求められています。進捗状況はどうなっているか伺います。
- 6 沖縄県には、「しまくとぅば」や歴史、伝統、文化、自然、食など、世界に誇れるものが多数あります。それらをデジタル化し、管理、活用することは沖縄21世紀ビジョンの施策に沿うものと考えます。見解をお聞かせください。
- 7 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

10月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	砂川 利勝(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 サトウキビ生産振興について</p> <p>(1) 本県のサトウキビ生産は、近年、台風、干ばつの気象災害や病虫害被害等により生産が低迷している。とりわけ、平成23年度産は、過去最低の生産量となり、厳しい状況となっている。本県におけるサトウキビの生産振興対策の取り組みについて聞きたい。</p> <p>2 畜産業の振興対策について</p> <p>(1) 八重山地域とりわけ石垣島は畜産業が基幹産業として重要な産業を形成している。しかしながら畜産業における人工授精師が少ないこともあり、畜産農家では人工授精師の確保が課題となっている。そこで生産農家からは2年に1回開催される人工授精師試験を石垣市で開催することはできないかという要望が出ている。県として石垣市での試験開催についてのお考えをお示し願いたい。</p> <p>3 漁業振興策について</p> <p>(1) 日本最西端の与那国町久部良漁港はカジキ、マグロなどの大型高級魚の拠点として漁港整備が進められている。漁港は整備されているものの台風の常襲地とあって避難施設の整備が求められている。そこでお伺いいたしますが、防波堤を利用した避難ができるよう防風ネットの整備ができないものか、県の対応についてお聞きしたい。さらに、漁港内の浮き桟橋設置についても答弁を求めたい。</p> <p>(2) 石垣漁港については、防風避難対策は整備されつつありますが、5トン以上の大型漁船については船揚げ施設がなく、台風のたびに港湾内での避難を余儀なくされています。近年の大型台風接近により、安全面から憂慮されており、漁民から船揚げ施設の整備が求められている。石垣漁港船揚げ場施設整備についての県のお考えをお示し願いたい。</p> <p>4 波照間空港周辺環境整備について</p> <p>(1) 日本最南端の波照間空港は現在、再開に向けてターミナル整備計画などが着々と進められております。しかし、ターミナル周辺は集中豪雨のたびに周辺からの雨水が集中しターミナル一帯は冠水する騒ぎとなるなど、排水対策の抜本的見直しが進められております。そこで、空港周辺排水対策及び水利用について県のお考えをお示し願います。</p> <p>5 石垣空港アクセス道路整備計画について</p> <p>(1) 空港開港以来、乗降客も順調な伸びを見せ、八重山の経済発展に大きく寄与しております。しかしながら、早急なアクセス道路の整備が求められております。そこでお伺いいたしますが、用地取得などこれまでの進捗状況について御説明願います。</p> <p>6 離島振興について</p> <p>(1) 一括交付金活用による離島振興に関連して、八重山地域での一括交付金等の活用実績と今後の展望について御説明願います。</p> <p>7 離島における建築単価の見直しについての進捗状況。</p> <p>8 我が党の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

10月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	嶺井 光(無所属)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 多様な人材の育成と文化の振興について</p> <p>(1) 学力向上・学校教育の充実について</p> <p>ア 学力テストが躍進した取り組みの詳細を伺う。</p> <p>イ 取り組みに対する教師の負担状況を伺う。</p> <p>ウ 地域の支援状況を伺う。</p> <p>エ 今後、持続するための方策を伺う。</p> <p>(2) 将来を担う国際性豊かな人材、難関大学レベルを目指す人材養成は私立学校も含め、小学校段階から取り組む必要があると考えるが所見を伺う。</p> <p>2 交通政策について</p> <p>(1) 鉄軌道について</p> <p>ア 南北縦貫鉄道の上下分離方式を目指す整備制度の見通しを伺う。</p> <p>イ 市街地の渋滞対策は路面電車等で地方部を連結する必要がある。対策を伺う。</p> <p>3 農林水産業の振興について</p> <p>(1) 農業の多面的機能について認識を伺う。</p> <p>(2) 県営かんがい排水事業(中山・志堅原地区)について</p> <p>ア 貯水池の設置必要箇所の考え方を伺う。</p> <p>イ 中山地域の農地保全策について伺う。</p> <p>(3) 農業基盤整備促進事業(中山地区農業用排水施設)の採択について伺う。</p> <p>(4) 農山漁村活性化対策整備事業(百名地区)の採択について伺う。</p> <p>(5) 県営かんがい排水事業(雄樋川地区2期分送水ポンプ14基)の動力を太陽光によって農家負担軽減を図ることについて沖縄電力、県の対応を伺う。</p> <p>(6) 6次産業化の取り組みについて伺う。</p> <p>ア 県内の認定状況と県、市町村の支援状況を伺う。</p> <p>イ 認定を目指す事業者への支援の状況を伺う。</p> <p>(7) 家畜排せつ物対策に苦慮する畜産農家支援について伺う。</p> <p>(8) ホテル・ホテル訓練区域の一部解除区域における安全な操業とさらなる解除区域の拡大について伺う。</p> <p>4 経済振興について</p> <p>(1) 国際物流拠点産業集積地域拡大について</p> <p>ア 県外企業の反応、課題、対策を伺う。</p> <p>イ 県内企業が制度を有効に活用するには県全域を対象にすべきではないか、県の認識と今後の対応を伺う。</p> <p>(2) 国家戦略特区について本県においてはどの分野で生かせるか伺う。</p> <p>5 福祉政策について</p>			

- (1) 2015年度から5年間で学童保育30万人の受け皿を整備するとしている国の放課後子ども総合プラン(仮称)について、県内の実態と市町村の反応、課題、対策を伺う。
  - (2) 前期高齢者財政調整交付金が国保加入者1人当たり全国平均9万6859円であるのに対し本県は全国で最も少ない2万2032円となっている。これは戦時中、終戦直後の出生数減少などが影響しており全国並みの財政支援措置がなされるべきである。県の対応を伺う。
  - (3) 難聴者対策でホールや講演会場等における集団補聴装置について
    - ア 磁気ループの設置状況を伺う。
    - イ 観光を推進する本県では観光バスなどへの設置が必要と考える。実態はどうか伺う。
- 6 県民生活について
- (1) ハブ対策について、ハブ咬傷被害の実態とハブ駆除対策の取り組み状況、課題、対策を伺う。
  - (2) マイナンバー制移行への取り組み状況と課題、対策を伺う。
- 7 土木建築行政について
- (1) 嶺井団地は築40年、老朽化が進行している。建てかえについて見通しを伺う。
  - (2) 南部東道路の整備について
    - ア 南部東道路は那覇空港までの時間短縮など円滑な交通の確保を目指しており那覇空港自動車道へ直接連結すべきである。地元南城市との協議の状況を伺う。
    - イ 平成26年度の事業進捗状況を伺う。

# 一般質問通告表

平成26年第5回沖縄県議会(定例会)

10月02日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	仲田 弘毅(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県経済の現状と今後の展開について</p> <p>ア 取り組みの成果と今後の施策展開を聞きたい。</p> <p>(2) 平成27年度内閣府概算要求について</p> <p>ア 要求全般に対する知事の評価と予算確保に向けた取り組みを伺いたい。</p> <p>2 沖縄国際航空物流ハブについて</p> <p>(1) 沖縄国際航空物流ハブの物流ネットワークや輸送実績はどこまで拡大しているか。</p> <p>(2) 県は物流ハブ機能の拡充や活用拡大を推進しているが、具体的な取り組みを聞きたい。</p> <p>(3) 臨空・臨港型産業の誘致動向はどうなっているか。また、今後の取り組みはどうなっているか伺いたい。</p> <p>(4) 県内企業の物流ハブ活用の現状とその成果について伺いたい。</p> <p>3 雇用対策について</p> <p>(1) 新聞報道等で、県は経済団体や業界団体に正規雇用拡大等の要請を行ったとのことだが、雇用の質の改善に向けた取り組みについて伺いたい。</p> <p>(2) 人材不足が大きな指摘を受けている業界等への対策について伺う。</p> <p>4 観光施策について</p> <p>(1) 今年度の入域観光客数の目標である690万人の達成見通しについて伺う。</p> <p>(2) 県はことし3月にチャンギ空港グループと相互連携協定を締結し、9月に川上副知事を团长とするトップセールスを実施しているが、その成果について伺いたい。</p> <p>(3) 少子化による生徒数減少や九州新幹線開通等による競争激化の中、沖縄への修学旅行を取り巻く環境は厳しい状況にあると考えるが、現状と県外誘致に係る取り組みを聞きたい。</p> <p>(4) 県は今年度中に知事が公約に掲げた入域観光客数1000万人の達成に向けて、具体的な工程表となる沖縄観光推進ロードマップを策定することのことだが、進捗状況について伺う。</p> <p>(5) 地震などの災害から観光客の安全・安心を守る体制を構築するため、沖縄県観光危機管理基本計画を策定することのことだが、どの程度の進捗か伺いたい。</p> <p>5 農業振興について</p> <p>(1) 農家の安定経営について</p> <p>ア 農業共済の支払い実績について伺いたい。</p> <p>イ 災害に強い栽培施設の整備実績と今後の計画について伺う。</p> <p>(2) 去る7月に本県を直撃した台風8号による被害で、うるま市与那城宮城島及び石川において農道等ののり面崩壊が発生しているが、県の対応について聞きたい。</p> <p>(3) 農地・水保全管理対策事業(多面的機能支払交付金)について</p> <p>ア 国は農地の保全管理や農業用施設の維持管理に効果のある「農地・水保全管理対策事業」を制度拡充したと聞いているが、具体的にはどのような内容か伺いたい。</p>			

イ 「農地・水保全管理対策事業」の他府県の取り組み状況はどうか。

ウ 同様に沖縄県の取り組み状況について聞かせてください。

## 6 教育行政について

### (1) 学力テストについて

ア 平成26年度全国学力・学習状況調査において、小学校が最下位から全国24位の水準に達したが、その要因をどのように分析しているか伺いたい。

イ 特に算数Aの成績が飛躍的に向上した反面、補習等の指導で算数嫌いな児童生徒がふえることを心配する声が聞かれるが実態はどうか。

ウ 向上した学力を維持し、さらに伸ばすためには教師の指導力向上が不可欠と思われるが、指導力をどのように分析し今後の指導に生かしていくか伺う。

エ 学校現場の教師と家庭教育を担う親、双方の努力が必要不可欠と考えるが教育長の見解を伺いたい。

### (2) 難関大・国立大への取り組み事業について

ア 事業目的について伺う。

イ 10月・11月の受講実施とあるが応募状況はどうか。

ウ 県立高校教員を対象にした指導力向上講習会の内容について聞きたい。

### (3) 教育指導援助について

ア 「移民県おきなわ」を出港し、60年前ボリビア国へ移住した先人たちの子弟教育を目的に、27年間28名の教員が母県である「おきなわ」から派遣され大きな成果と評価を受けてきました。残念ながらその事業が廃止され、県民、特に事業に携わった各先生方の失望が大きかったことは言うまでもありません。「ボリビア移住60周年」の節目に改めて再開に向け教育長の考え方を伺いたい。

## 7 我が党の代表質問との関連について